



なぎさ

京急のまちマガジン

TOWN MAGAZINE NAGISA OF KEIKYU

August 2018 No.610

特集 三崎口駅
ローカルの地・三浦で本を編む



平和島温泉

私が生かされたところ、母と平和島温泉に行った。

大広間で母は歌と踊りをした。

いつもとちがう母の姿を見た。

はちをすぎた私は

友達とまた平和島温泉に出かけた。

季節は夏だった。

プールでピンク・レディーの歌と踊りを

はしゃぎながらした。

今また京急で平和島温泉に来ている私。

ゆつくりゆぶねにつかり、

母や昔の私を思い出し、

気がつくとはほがゆるんでいる。

作／ペンネーム・ちやぼこ



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「お父さん、3年前に見た三浦海岸の夕陽を覚えていますか？ あれから……」
京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

■応募方法／はがきか封書、またはEメールに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。

詩とタイトル(詩は300字程度)、郵便番号、住所、氏名(匿名希望の場合はペンネームも)、年齢、性別、電話番号、(Eメール応募の場合)メールアドレス、本誌のご感想

※ご応募いただいた方の個人情報は、作品掲載および賞品の発送以外の目的で使用することはありません。※掲載された方には京急オリジナルQUOカード(1,000円分)を進呈します。※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります。※応募作品の使用権は京浜急行電鉄(株)に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます。

■締め切り／8月20日(月)消印有効

■応募先／〒108-0074 港区高輪 3-25-23 京急第2ビル 3F(株)京急アドエンタープライズ『なぎさ』610号 詩募集係
E-mail : nagisa.hiroba@keikyu-ad.co.jp

特集 三崎口駅

ローカルの地・三浦で本を編む

三崎漁港そばの商店街に

小さな出版社がやってきた。

その名も「アタシ社」。

彼らが見つけた

ローカルの地だからこそ

できることとは？



京

急久里浜線の終点「三崎口」駅からバスで約15分。漁港にほど近い三崎

銀座通り商店会の真ん中に、小さな出版社がある。その名も「アタシ社」。編集者のミネシゴさんとデザイナーの三根かよさん夫婦が営む、三浦市唯一の出版社だ。

「自分たちがいいな、と思ったことを本にしていきたい」。ミネさん夫婦はそんな思いを胸に、独自の視点によるカルチャー誌などを発行している。

逗子を拠点にしていた「アタシ社」が三浦にやってきたのは、2017年12月のこと。きっかけは、横須賀市で行われた三浦半島の活性化イベント。「みやがわベール」の運営者であり、三浦のまちづくりに携わっている岩崎聖秀^{まさひで}さんとの出会いだっただ。岩崎さんに三浦を案内され、三崎漁港で働く人たちのたくましい姿に引かれたというミネさんは、のちに「アタシ社」の事務所となる建物のた

三浦を愛し、三浦で好きなことをする



ももとは船具店だった「アタシ社」。築年数は90年だという。



仕事場は2階。窓から心地よい潮風が流れてくる。学校帰りの小学生が駆け上がってきて宿題を一緒にすることも。



目の前にある老舗本屋「三崎堂書店」。現在三浦市には2軒しか本屋がなく、貴重な存在。

たずまいと立地に一目ぼれ。拠点
を移すとともに、夫婦で三浦に移
住したのだった。

「決め手となったのは、目の前に
『三崎堂書店』があることでした。
三浦の魅力の本にし、三浦の本屋
で売る。ここで、小さな経済をつ
くりたいと思ったんです」

新天地での「アタシ社」第1弾
の仕事は、写真家・有^{あり}高^{たか}唯^{ただ}之^{ゆき}
さんが、「三浦で生きる人」をテー
マに撮り続けた作品を一冊の本に
することだった。三浦の第1次産
業で働く人びとを中心としたポー
トレートは、ミネさん夫婦が思い
描く『三浦の魅力を伝えること』
と一致した。『南端』と名付けた
写真は、目の前にある「三崎堂
書店」に並び、三浦の人びとに歓
迎された。20冊買ってくれた漁師
さんもいたという。「まちづくりを
しているつもりはありません。た
だ、自分が好きなことをしてい
ると、町が元気になっていく感覚が
ありました」と語る、ミネさん。



ミネさんは横浜、かよこさんは千葉生まれ。ベッドタウン生まれの二人だが、この町はなぜか故郷のように懐かしさを感じる場所だそう。



都内に打ち合わせに向かうかよこさん。「三崎口」駅から都内までは
京急線で約90分。東京からも仕事の依頼がある二人にとって、「三浦
は東京に通えるギリギリのローカル!」だ。



写真集『南端』(有高唯之/アタシ社) 3,500円(税別)
2018年5月4日発売



合同会社 アタシ社 <http://www.atashisya.com/>

2015年4月、逗子で創業。編集者である夫・ミネシゴとデザイナー
である妻・三根かよこからなる夫婦出版社。美容文藝誌『髪とアタシ』
や30代のための社会文芸誌『たたみかた』などを発行している。蔵書
室「本と屯(たむろ)」の営業日はTwitter(@hontotamuro)にて告知。

「三浦の人ってかっこいいものが好きだから」と、とこ
とんこだわって編集・製本した写真集『南端』。「普通
の写真集の5倍はいい紙。大手出版社ではできない
こと」。帯は、三崎に住んでいた小説家・いしいしんじ
さんによる。

「本と屯」が大切にしているのは、「余白」。

「本を読む場所とは決めていません。無目的もいい。

この空間で自分の好きなことを見つけてもらえればうれしい」。



たむろ 誰でも自由に屯できる蔵書室

「ア」 タシ社」の1階には、蔵書室「本と屯」がある。

ミネさん夫婦が子どもの頃に読んだ絵本や仕事の資料、出版社や作家からの寄贈本を含めて約2500冊が並ぶ空間だ。本を読んだり、おしゃべりをしたり、宿題をしたり。午後から日が暮れるまで誰でも自由に入れるので、まるで路地りにいるネコのようになっている。オープンしている日は、「マグロ」「ネコ」そして「本を読む男」が描かれたのれんが軒先で揺れる。

「本と屯」は、ミネさん夫婦の間が屯する場所でもある。釣り好きが高じて、自然や港で働く人に魅せられて、好きな人を追いかけて……。彼らの中には、ミネさん夫婦と同じように三浦に移住してきた人も。うどん店やゲストハウスに移住相談所。彼らもまた三浦を愛し、それぞれに根を張り、その暮らしを楽しんでいる。



A 三浦半島の自然を案内します！
成相 修さん

自然学校でさまざまな体験活動をサポートしてきた経験を生かし、自然と触れ合えるゲストハウスをオープン。



B 「うどん、おいしい」が聞きたくて
室越 敦さん

食に興味があり、カメラマンから農業を経てうどん店主へ華麗なる転身。三崎に行列ができるうどん店をつくった。



C 移住の相談はこちらまで
安原 芳宣さん

自身の経験を生かし、移住相談所を開設。三浦移住者のほとんどが安原さんの手ほどきを受けている。



D 三浦移住歴14年の大先輩
藤沢 宏光さん

「かもめ児童合唱団」のプロデューサー。釣りを愛するあまり三浦にたどり着き、その日に家を購入。



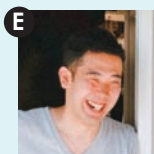
E 水曜日「本と屯」でお店番
武山 菜紀さん

娘は「かもめ児童合唱団」の最年少団員。娘が合唱のレッスンをしている間、母は「本と屯」でお店番。



F 「本と屯」の世界観をつくった
坪田 忠彰さん

横須賀市でリノベーションなどを手掛ける大工。尼野さんとともに「本と屯」の内装を担当した。



G 生粋の三浦っ子
尼野 克明さん

マグロ仲買人の父親を持ち、三崎銀座通り商店会を遊び場に育つ。今は商店会のトレンド店のオーナーだ。



H アタシ社引越しのきっかけ
岩崎 聖秀さん

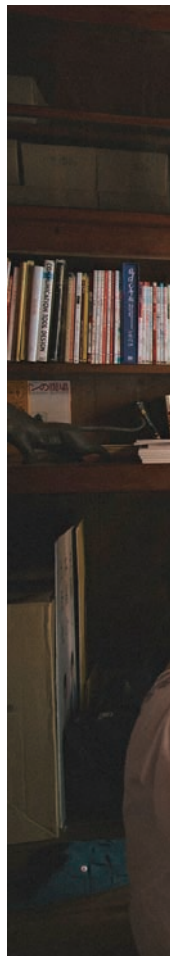
空き家流通サービス「カリアゲ」JAPAN)や「みやがわベーグル」などの運営に携わりながら、三浦に貢献。

三浦を愛する「本と屯」の常連さん

「ミサキドーナツ」のオーナー・藤沢宏光さんは、ミネさん夫婦をはじめ、三浦に移住してきた彼らのことを「三浦の希望」という。「二人ひとりの好きなことが共鳴し合い、イベントが生まれ、三浦のまちづくりにつながっている。それぞれが完璧でなくてもいいんです。私だったらこうする。そ

んな思いがまた新しい風を呼ぶんですから」。藤沢さんも14年前に三浦に移住してきた一人。東京で音楽プロデューサーをしていたことから、地元の合唱団「かもめ児童合唱団」をプロデュースし、2016年にはメジャーデビューさせたというすべ腕だ。

先日、「本と屯」では、軒先でろうつしている。バーベキューが行われたそう。農家の方が差し入れてくれた三浦野菜のおいしさに感動した参加者が、移住を検討中だとか。「さあ、次は何をしようか」。今日もミネさん夫婦のまわりでは、何か楽しいことが起こ



のれんのイラストは、ミネさんとかよこさんが大ファンだという吉田戦車さんの描き下ろし。藤沢さんの紹介で実現した夢ののれん。



おさらい INFO

LET'S CHECK OUT
THE SIGHTS

！見どころをチェックしてお出かけ！



「本と屯」の常連さんのお店にも行ってみよう！

おいしいマグロが落ちてないかニヤ〜



↑至 三崎口駅

海南神社

朝日らーめん ●

目ノ出
(三崎口方面)

目ノ出
(城ヶ島方面)

● Misaki.Factory

雀家
本と屯 ● 三崎堂書店

ミサキブレッツ ● 中華牡丹

かじめ ● まるいち食堂



26

26

Downtown
of Miura



朝日が気持ちよく
差し込む部屋
「komorebi」
(定員2名)

三崎銀座通り商店会へのアクセス

三崎口駅から京急バス2番のりば
「三崎港」「通り矢」「城ヶ島」「浜諸磯」
行きに乗車、「三崎港」下車すぐ

成相修さんの

A bed&breakfast ichi

作家が住み、まぐる漁船の船員
が宿にした家屋

由緒(!?)ある築80年の木造家屋から
生まれたB&Bスタイルの宿。「三浦富
士・武山縦走ハイキング」など成相さん
によるガイドツアーも受け付け中。

☎ 046-887-0574 ㊟ 三浦市三崎1-15-4

🕒 チェックイン16:00~21:00、チェックアウト
10:00、バーは18:00~LO21:30 ※詳細は
HP(<http://miurabase.com/ichi/>)へ





安原芳宣さんの
C 古道具 ROJI

古き良き明治、大正、昭和の
アンティークが並ぶ
ノスタルジックな店



宝探し気分で、お気に入りを見つけよう。移住相談受付の他、商店街の情報も提供してくれる店主の安原さん。街歩き最初に立ち寄りたい店。

☎090-8946-7867 ㊦三浦市三崎2-12-10 ㊟12:00~18:00 ㊞月・火曜日(祝日の場合は営業)



室越敦さんの
B 饅頭(うどん)はるかぜ

ツナとパクチーたっぷり
エスニック風ぶっかけうどん

一番人気は、レモンとナンプレーが食欲をそそる「パクチーマグロうどん」。手打ち麺はコシと弾力たっぷり。他、三浦野菜の揚げをのせた夏限定の「スパイシーカレーうどん」もオススメ。

☎046-881-3880 ㊦三浦市三崎3-5-1 ㊟12:00~LO14:00、17:00~LO19:00 ㊞火・水・木曜日 ㊟パクチーマグロうどん900円



藤沢宏光さんの
D MISAKI DONUTS
三崎本店

ひとつひとつ手作りした
ふわふわのドーナツ

時計店をリノベーションしたカフェ。2階は30席。オープンスペースでライブを開催することも。ドーナツは大きくて食感モチモチ。



常時20種類ほど
そろろドーナツの
季節限定の商品も。

グレイズドーナツ
185円他

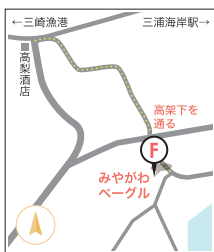
☎046-895-2410 ㊦三浦市三崎3-3-4 ㊟11:00~17:00(土・日曜日は10:00~18:00) ※季節により変更があります ㊞無休

岩崎聖秀さんの
F みやがわベーグル

地産地消にこだわって
小麦も野菜もすべて三浦産

三崎口駅から車で約10分。宮川町の小さな港のそばにあるベーグル店。ピーツやニンジンのジャム、新鮮なツナなど、具材はヘルシー&ボリュームー。

☎050-3748-3850 ㊦三浦市宮川町11-28 ※営業は土・日曜日の10:00~15:00のみ、売り切れ次第終了



尼野克明さんの
E 壁紙屋
good day house

インテリア好き必見の
壁紙ショップ

「三崎港」バス停を降りてすぐにある、蔵づくりのお店。店主の尼野さんがセレクトした世界中から集めた壁紙に、心躍る。

☎090-4527-0184 ㊦三浦市三崎4-8-9 ※営業は土・日曜日のみ、ご来店の際はお問い合わせください



京急電鉄の謎 ⑮

京急のいま・むかしシリーズ 三浦半島

三浦海岸に
フロリダのデートナ・ビーチ現る

2次世界大戦中は日本軍の要塞地帯と化していた三浦半島。戦後に開放されると、行楽地として注目されるようになった。

そこで京急電鉄は、行楽客の利便性を図るべく、1949年、品川〜浦賀駅間で「休日ハイキング列車」の運行を開始。その後も三浦半島一周定期遊覧バス「さざなみ号」を運行するなど、三浦半島の旅客誘致に力を注いだ。56年には久里浜以南への路線延長計画が立ち上がり、63年に京浜久里浜（現・京急久里浜駅）〜野比駅（現・YRP野比駅）間が開通。その先に三浦海岸駅が誕生したのは、66年7月7日のことだった。

京急電鉄は三浦海岸駅の開業に先駆けて、横須賀市と三浦市にまたがる約8kmの海岸線を「三浦海岸」とし、海水浴客誘致のキャンペーンを大々的に行った。当時はフロリダ半島の形に似ているといわれていた三浦半島。藤沢の片瀬海岸が「東洋のマイアミビーチ」なら、三浦海岸は「フロリダのデートナ・ビーチ」。テレビや新聞に「青いデートナ・ビーチ《三浦海岸》」の文字が躍り、「三浦海岸フェスティバル」などのイベントが行われ、三浦海岸は一躍人気スポットに。71年には約400万人の海水浴客が三浦海岸を訪れ、マリンスポーツを謳歌したという。

一方、三浦半島にあって、京急電鉄が手掛けたもうひとつのレジャースポットが、「京急油壺マリンパーク」。68年に開業し、今年で50周年を迎える。モットーは「新しい、未来指向の水族館」。これまでにない、魚を自然のままの生態で観察できる水槽や、ショー仕立ての水槽が話題を呼んだ。ちなみに「京急油壺マリンパーク」は、ご成婚前の秋篠宮ご夫妻が訪れたロイヤルデートの地。レストランでお二人が召し上がったシーフードカレーは、若いカップルがごぞつて食べたとか。現在14ほどある三浦半島のビーチ。今年の夏は、どんなドラマが生まれるだろうか。



「青いデートナ・ビーチ（三浦海岸）へ品川から70分!」というたうポスター。

History of KEIKYU&MIURA
京急電鉄と三浦の歩み

- 1966 (昭和 41) 年
「三浦海岸」駅開業
- 1968 (昭和 43) 年
「京急油壺マリンパーク」開業
- 1975 (昭和 50) 年
「三崎口」駅開業



上／視界 360°のパノラマの海を再現した「京急油壺マリンパーク」の大回遊水槽は、開業時から人気。現在はオオメジロザメなどが泳ぐ。下／海水浴客でにぎわう三浦海岸。砂浜は歩くのが困難なくらいの人出だったという。海の家も所狭しと並んだ。

参考文献／『京浜急行百年史』（京浜急行電鉄株式会社発行）



- いま、見えてくる京急沿線の未来 File.15 -

日ノ出町発、“持たない暮らし”のススメ

YADOKARI 株式会社



【 移動する暮らし 】

【 コミュニティー 】

日本初の高架下タイニーハウス！

日

ノ出町駅から大岡川沿いを歩くと、京急線の高架下に、トレーラーハウスが5台並

んでいる。移動できる住居「タイニーハウス」だ。タイニーハウスとは、その名の通り「小さな家」のこと。必要最低限のモノだけを所有してシブブルに暮らすスタイルだ。

今年4月、未来の住まい方を提案するYADOKARIが、京急電鉄と連携し、日ノ出町の高架下に複合施設「TINYs Yokohama Hindocho」をオープンした。設置された5棟のうち3棟のタイニーハウスはホステルのベッド、シャワーとトイレ、寝食に必要な最低限の家具、そしてコーヒーマーカーが一つ。寝泊まりすれば、トレーラーで移動しながら暮らしているような非日常感を味わえる。「タイニーハウスはロマン！」と語る、YADOKARIのプロデューサー・相馬由季さんは、こう説明する。「こうした住まい方はリーマンショック後のアメリカで広まりました。日本でも、東日本大震災を機に注目されています。豊かさを見つめ直すなかで、タイニーハウスが体現する『持たない暮らし』が、多くの人の心をつかんだのだと思います。限られた空間に持ち込めるのは、暮らしに最低限必要なモノ

だけ。一度泊まってみると、自分にとって本当に大切なモノは何なのか、考えるきっかけになるかもしれません。

ホステルの隣には、宿泊者に限らず利用できるカフェラウンジと水上アクティビティーステーションがある。大岡川でSUP（スタンドアップパドルボード）を楽しみ、カフェラウンジでビールを一杯、飲み足りなければ、日ノ出町のにぎやかな繁華街に足を運んでも楽しそう。


「カフェラウンジでは、『コミュニティ』暮らし、移動などをキーワードにした映画上映会やトークショーなどのイベントを行っています。先日、タイニーハウスをテーマに開催したワークショップでは、語り尽さなくて思わず宿泊。宿泊棟のテラスで朝まで語り合うお客さまもいらっしゃいました」（相馬さん）

旅行者や地元のひとつが集う、水辺の新しいコミュニティ。いまの暮らしを見つめ直すきっかけにいかが？



ホステルは、1人1泊3,600円～。1棟貸し切りの場合、1万8,000円～。高架下にありながら、戸を閉めるとたちまち静かな空間に。水上アクティビティーステーションには、更衣室、シャワー、ロッカーがある。カフェラウンジの名物メニューはハンバーガー。



ひと駅ごとに行きたいまち
京急線 
普通電車の旅
 vol.59

さめず
鮫洲駅編

かつての漁師町にアートの風吹く

運転免許試験場でおなじみの鮫洲は、江戸時代、将軍に魚介を献上する「御菜肴 八ヶ浦」のひとつに数えられた由緒ある漁師町だった。2015年にはアーティストックなゲストハウスが誕生し、海外からのバックパッカーがちらほら。時代の名残と新しい風が共存する街。

この街のおもしろ
ルール 5

- 1 今年(2023年)は8月10・11・12日が八幡神社の例大祭
- 2 旧東海道は江戸時代から変わらぬ道幅
- 3 外国人に道を尋ねられる可能性アリ
- 4 勝島運河沿いは夕涼みにおススメ
- 5 運転免許試験場では有名人に遭遇することも!?



免許取得の申請書などを代筆してくれる代書屋は、鮫洲ならではの。昭和50年頃までは、駅前(20軒以上)並んでいたという。

おとどけいさやう

玩具や文具などの京急オフィシャルグッズが購入できる。鉄道ジオラマや運転台の展示もあり、子どもから大人まで楽しめる!

☎ 03-5796-6183 🕒 11:00~16:00(土・日・祝日は18:00まで)

🗓 月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)・年末年始

警視庁 鮫洲
 運転免許試験場

316

海岸通り

◎船宿 いわた

代々漁師だった岩田家が、一度は陸に上がったものの「海が忘れられない」とはじめた船宿。釣り船は揺れが少ない大型船で、初心者も安心して楽しめる。結婚式の2次会などに利用できる屋形船も。

☎ 03-3471-1322 📍 品川区東大井1-25-3 ※詳細はHP(<http://www.iwatama.ru.com/>)をご確認ください



漁師町のおもかげが残る勝島運河。今は羽田を行き交う飛行機の姿も。

PhotoSpot 01



散歩のメッカ、しながわ花海道



⑧ 八幡神社 (通称: 鮫洲八幡神社)

江戸時代から漁師たちに信仰された鎮守。例大祭で午前3時に宮みこしが発御するのは、担ぎ手であった漁師の生活時間に合わせたものではないかといわれている。祭の3日間は、町が熱気で包まれる。

📍 品川区東大井1-20-10



天然醸造仙台味噌
五風十雨

⑨ 八木合名会社 仙台味噌醸造所

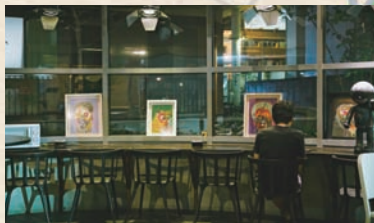
仙台藩主伊達政宗公が、江戸に勤の家来のためにつくった味噌醸造所。戦時中は横須賀の海軍にも味噌を提供していた。働く男たちを支えた辛口の仙台味噌、一度ご賞味あれ。

☎ 03-3474-0505 📍 品川区東大井4-1-10 🕒 8:00~19:00
(木曜日は17:00まで) 📅 土・日・祝日、8月4~12日、年末年始
🍽 五風十雨 1,296円 / 1kg

⑩ アーテン シェルター ARTnSHELTER

デジタルアートや写真など現代アートが展示されたゲストハウス。サイケデリックな地下室は、まるで大人の秘密基地。カフェバーはウイスキーとカクテルが充実。

☎ 03-3765-2288 📍 品川区東大井1-19-10 🕒 カフェバー 15:00~23:00 📅 無休 ※宿泊等の詳細はHP(<http://www.artnshelter.com/>)をご確認ください



⑪ ディー エーティー D. A. T

昔ながらの喫茶店。一番人気は、ゴーダチーズとナチュラルチーズが絡まる「ピザ風スパゲティ」。店主の久野隆子さんお手製のトマトソースは創業以来38年変わらぬ味。

☎ 03-3450-6602 📍 品川区東大井1-24-7
🕒 8:00~20:00 📅 日曜日・年始 🍽 ピザ風スパゲティ 1,100円



⑫ 富貴寿司

地元で愛され続けて85年。漁師をうならせてきた江戸前ずしは、大ぶりのネタで食べ応え満点。夜は小鉢も充実。カウンターで店主との掛け合いを楽しもう。

☎ 03-3471-8358 📍 品川区東大井1-23-10 🕒 11:30~13:30、17:00~23:00 📅 水曜日 🍽 にぎり1個 200~400円



鮫洲駅
さとうしげあき
佐藤 修さん

明るい窓口です

窓口で尋ねられるのは、たいてい免許試験場かゲストハウスへの行き方です(笑)。2本の電車がすれ違うベストショットを撮影したいときも、ぜひ窓口で時刻をお尋ねください!



7オスボット発見!



「#京急なぎさ」をつけてInstagramに投稿しよう。京急の公式アカウント(@keikyu_official)も要チェック!



■ スペースアスレチック トンデミ “ヘイワジマ”

トンデミ平和島がオープン!

国内最大規模のトランポリンやクライミングアクティビティ、国内初のロープコースなど、体感型の遊びが集まった“体汗エンターテインメントセンター”がBIGFUN 平和島に登場しました。未就学児が楽しめるキッズエリアも充実! 夏休みはトンデミで思いっきりカラダを動かして、家族の思い出づくりをしてみてください。



■営業時間/10:00~21:00 ■詳細/HP (<https://bandainamco-am.co.jp/kids/tondemi/heiwajima/>) ■お問い合わせ/03-6404-9935

■ 京急電鉄

京急スポーツフェスタ!! ビーチバレーボール大会

男女ミックス4人制ビーチバレーボールで砂浜を熱くしよう。今年は京急創立120周年にちなみ、バレーボールワンハンドパスなどの「120秒チャレンジイベント」も実施します。



■開催日時/8月25日(土)8:30(受け付け開始)~16:30 ※荒天中止
■会場/横浜海の公園 ■最寄り駅/八景島駅(シーサイドライン)
■申し込み方法・詳細/HP (<http://sportsfun.club>) ■お問い合わせ/044-221-0360 (有限会社オフィスプライヤ/平日 10:00~17:00)

■ 東芝未来科学館

夏休み特別イベント〈東芝鉄道物語~ in かわさき〉

「京急川崎」駅から徒歩約7分。東芝未来科学館では、東芝と鉄道のつながりや技術について分かりやすくご紹介する夏休みイベントを開催します。川崎は京急発祥の地。京急創立120周年を記念したワークショップもお楽しみに!

■開催期間/8月15日(水)まで ■時間/各日10:00~16:00 ■料金/無料 ■休館日/月曜日 ■詳細/HP (<http://toshiba-mirai-kagakukan.jp/>) ■お問い合わせ/044-549-2200 (火~金曜日10:00~17:30、土・日・祝日は18:00まで)



■ 京急油壺マリンパーク

すいぞくかん学園

イルカの餌付けやカワウソとの指タッチなど生き物とのふれあいから、サメの歯を使ったUVレジンクラフト教室、夏ならではの昆虫採集体験まで、さまざまな部活動を実施中です。今年の夏休みの自由研究は「すいぞくかん学園」で!



■開催期間/各活動にて異なります。詳細はHPをご覧ください ■料金/500円~※別途入園料が必要となります ■詳細/HP (<http://www.aburatsubo.co.jp>) ■お問い合わせ/046-880-0152

■ ウィング高輪

BEER SELECTION 2018

本場さながらのイタリアンやブラジルのシュラスコにタイ料理。バラエティー豊かなレストランがそろった「ウィング高輪WEST」で、料理と一緒にビールを楽しみませんか? 館内にあるテラスまたは「京急EXイン品川駅前」のルームキー提示で、おトクな特典もご用意しています。



■開催期間/9月30日(日)まで ■最寄り駅/品川駅 ■詳細/HP (<http://www.wing-net.ne.jp/takanawa/>) ■お問い合わせ/03-3449-1436 (ウィング高輪WEST)

路線図



■ 京急電鉄×都営交通×京成電鉄

相互直通50周年記念キャンペーン
スタンプラリーピン50ー!!

京急電鉄、都営交通、京成電鉄は相互直通50周年を記念して、3社局共同のスタンプラリーを実施中です。各社局3カ所、合計9カ所のスタンプをカードに押しいただき、実施期間終了後に発表される各社局9マスの駅配置ラインがそろった参加者に、抽選で「台北行きLCC往復チケット」など豪華賞品が当たるピング式のスタンプラリーです。この機会にぜひ、直通電車で三浦半島〜都心〜成田までの旅を試みませんか。



- 実施期間/9月2日(日)まで
- スタンプ設置駅/京急線:三浦海岸駅、金沢文庫駅、横浜駅、都営線:大門駅、新橋駅、浅草橋駅、京成線:柴又駅、東中山駅、京成成田駅
- 賞品/《全駅ピンゴ賞》羽田または成田空港発台北行きLCC往復チケット(各1組2名さま)《相互直通賞》オリジナルQUOカード1,000円分(10名さま)《京急・都営・京成ピンゴ賞》各社オリジナルグッズ(各20名さま)
- お問い合わせ/03-5789-8686(京急ご案内センター)/平日9:00~19:00、土・日・祝日9:00~17:00

■ 京急電鉄×京成電鉄×京王電鉄

電車で行こう! 第5回大本山スタンプラリー

真言宗智山派大本山の「成田山新勝寺」「川崎大師平間寺」「高尾山薬王院」でスタンプを集めると、抽選で京都ホテルオークラペア宿泊券などさまざまな賞品が当たります。まずは各駅で配布しているリーフレットをゲット。詳しくは、チラシ、HPをご覧ください。



- 実施期間/8月1日(水)~10月31日(水)
- 応募締め切り/11月5日(月)
- 賞品/《全制覇賞》※スタンプ3個で応募可能 ①京都ホテルオークラペア宿泊券(3組6名さま) ②大本山スタンプラリーオリジナルデザイン御朱印帳(30名さま)《A賞》※スタンプ2個で応募可能 ①大本山スタンプラリーオリジナル湯呑み(50名さま) ②京急・京成・京王オリジナルグッズ詰め合わせ(30名さま)《B賞》※スタンプ1個で応募可能 京急・京成・京王オリジナルクリアファイルセット(150名さま)
- スタンプ設置場所・時間と最寄り駅/《成田山新勝寺》8:00~16:00(京成線京成成田駅)《川崎大師平間寺》8:50~16:00(京急線川崎大師駅)《高尾山薬王院》8:30~16:00(京王線高尾山駅)
- 詳細/HP(<http://www.daihonzan-cp.com/>)
- お問い合わせ/03-5789-8686(京急ご案内センター)/平日9:00~19:00、土・日・祝日9:00~17:00

PRESENT

葉山マリーナ クルージング&ランチプランペアチケット 2組4名さま

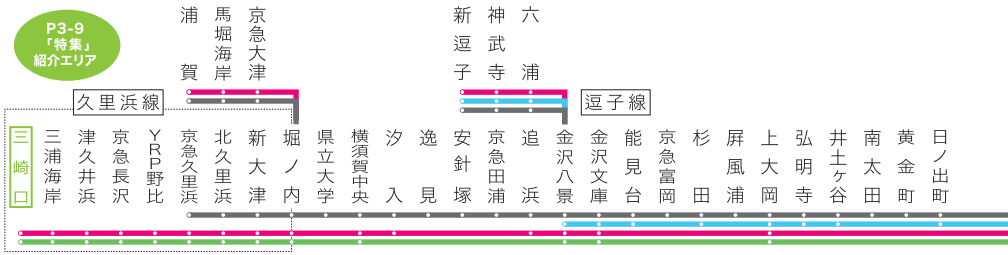
はがきに ①郵便番号・住所・電話番号、②氏名・年齢、③本誌の入手場所、④今号で面白かった記事、⑤本誌デザイン・内容についてのご感想、をご記入のうえ、ご応募ください。※ご応募いただいた方の個人情報は、アンケートの集計および賞品の発送以外の目的で使用するものではありません。

締め切り **8月20日(月) 必着**

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先/〒108-0074 港区高輪 3-25-23 京急第2ビル3F
御京急アドエンタープライズ係
『なぎさ』610号プレゼント係

次号は、2018年10月1日(月)発行予定です



のりかえなしで
都心へGO!
都営浅草線

**森乃園
甘味処**
人形町駅

人形町の夏の名物は、大正3年創業のほうじ茶専門店が極上&希少な茶葉でつくる「ほうじ茶かき氷」(1,609円)。
☎03-3667-2666 ☎中央区日本橋人形町2-4-9 ☎12:00~LO17:00
(土・日・祝日は11:30~) ☎年末年始 ※詳細はHPへ



その生き方のそばに、京急

LIVE THE LIFE YOU LOVE.

おかげまで120周年
歴史と共に創られる、京急沿線の日常。
Life along Keikyu

京急創立120周年

120年という長い時をかけて、積み重ねてきたものがある。
いくつもの出逢いと、築き上げた信頼。そして感謝の思い。
電車もバスも、レジャーもショッピングも、
豊かな沿線のさまざまなシーンを、ひたむきさと笑顔で支え続ける。
数えきれない「ありがとう」を込めて、毎日を安全に、暮らしに安心を。
かけがえのない1日を重ねて、京急は創立120周年、そして未来へ。

1898-2018



これからもたくさんの笑顔に乗せて。



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは
京急ご案内センター (平日9:00~19:00 土日祝日9:00~17:00)
※営業時間は変更になる場合がございます。
03-5789-8686 / 045-441-0999
京急ホームページ www.keikyu.co.jp

KEIKYU
京急電鉄